



みわを元気に

三和地域協議会ニュース 第26号 令和元年7月18日発行

三和地域の人口・世帯数
男 1,587人
女 1,660人
合計 3,247人
世帯数 1,667世帯
(令和元年6月末 現在)

発行：三和地域協議会
編集：広報編集委員会

昨年2月に「mマート三和店」が閉店して以来、地域の皆さんが待ち望んでいたスーパーがよいよ開店します。

開店するのは「ミニフレッシュ三和店」で、株式会社さとうフレッシュフロンティア（さとうグループ）が運営する食品中心のスーパーマーケットです。

昨年の「mマート三和店」の閉店以後、三和地域協議会では自治会長会や地域の諸団体に呼びかけ、「三和地域に新たなスーパーを誘致して欲しい」と福知山市に要望書を提出するなど、様々な活動を進めてきました。

とりあえず誰もが買い物が可能なように、協議会が運営する「みわひまわりライド」が、「スーパーPLANT-3」に乗り入れができるように運行エリアの拡大も行いました。

しかし、「PLANT-3」はやはり遠いうえ料金も倍額となるため、あまり利用が進んでいません。

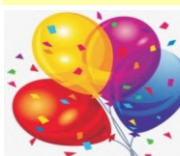
そんななか、昨年8月に「さとう」の進出が公表され、今夏と発表された開店を地域住民みんなで心待ちにしていたところでした。

春から始まった建設工事は順調に進み、併設されるクリーニング店も含め、7月26日の開店を待つばかりとなっています。

また、地元の野菜等のコーナーも設置され、出荷者の組織化も進ん



ミニフレッシュ三和店 7月26日オープン



ミニフレッシュ三和店

Q&A

- Q 営業時間と休業日を教えてください。**
- A 営業時間は午前7時から午後11時までです。定休日は元日(1月1日)を予定しております。**
- Q 行事で使うお菓子の詰め合わせやお弁当の注文も予算や個数に応じて対応していただけますか？**
- A あらがじめご相談頂ければ対応させていただきます。スタッフにお気軽にご相談ください。**
- Q スーパーのほかにテナントはありますか？**
- A ☆クリーニング(9:00～19:00)とコインランドリー(6:00～23:00 オープン初日は7:00から)です。☆店内には近隣の生産者様による地場野菜コーナーがございます。また無料休憩コーナー(全18席)を設置いたします。**
- Q お弁当やお惣菜が入荷する(商品棚に並ぶ)時間帯を教えてください。**
- A 午前7時半から8時ごろまでには、お寿司、お弁当、お惣菜などバラエティ豊かにお取り揃えいたします。**

でいます。

肉や魚、お酒などはもとより、これまで以上に新鮮な地場野菜も毎日購入することができそうです。

三和地域の人口減は引き続き進んでおり、小売店の経営も厳しい状況にあります。

一方で工業団地には次々と新しい工場の立地が決定し、建設が進んできています。

「ミニフレッシュ三和店」は工業団地に働く人や、国道9号の通過交通者も利用しやすい位置にあります。やはり三和地域に住む人が積極的に利用していくことなしには、店舗の持続は保証されません。

三和を「暮らせるまち」として維持していくためにも、「私たちの店」として守り育ててい

きたいと、心から願うところで「みわひまわりライド」も7月下旬から「相乗り割引」制度を導入し、利用者の皆さんの負担を軽減する準備を進めています。改めて地域の皆さんと、新しいスーパーの開店を歓迎し、喜び合いたいと思います。



ミニフレッシュ三和店イメージ図

～みわひまわりライドからのお知らせ～

みわひまわりライドは、7月26日(金)の運行便から「相乗り割引サービス」を開始します。

割引になる「相乗り」方法など詳しい内容は、三和地域協議会(58-4130)までお問合せ下さい。

◎ 割引きの内容 ◎

「2人以上での相乗り」利用時に、1便につき1人当り100円(町内便)または200円(プラント-3買い物便)の割引専用回数券を無料でお配りします。

第12回 みわ夏まつり開催します！

8月14日(水)5時30分～
三和荘周辺・広場にて(花火は8時～)



PARTE PORTE

- ☆ビンゴゲーム(1等豪華賞品ほか)
- ☆パルテポルテステージほかバンド演奏
- ☆屋台(生ビール・キャベツ焼・たこ焼・かき氷他)
- ☆夜店(スーパーボール・射的)
- ☆鉄道模型電動カー

みわひまわりライド 利用状況をお知らせします！

	累計 (平成29年10月～令和元年6月)
会員登録者数	106人 (内訳: 男性25人・女性81人)
利用者数	57人 (内訳: 男性10人・女性47人)
運行便数	1,135便 (内訳: 町内便1,087便・プラント便48便)

みなさんこんにちは。このたび三和地域自治会長会を代表して三和地域協議会の一員となりました台頭の「出野都喜夫」と申します。よろしくお願いたします。

私は早期退職して三和町に帰ってきてから15年が経ちますが、三和町の現況や課題についてはほとんど知らず、またその必要も感じていませんでした。

言うまでもなく自治会の目的は、地域住民がお互いに協力し合って住みよい地域社会を形成して住民の福祉を向上することだと思います。

私が自治会を代表して三和地域協議会に参加するに当たっては、地域住民の方々が困っていること、不安に感じていることを、みんなで話し合ってひとつでも解決できればと考えています。

とりわけ「三和荘の存続問題」は至近の重要課題であり、より良い解決に向けて真摯に取り組みたいと思っています。

今後ともよろしくお願いたします。

ごあいさつ



自治会長
出野 都喜夫



「みわこどもまつり」今年も大盛況でした！

今年も「みわこどもまつり」が6月13日に三和荘ホール・周辺で開催されました。

第4回目を迎える今年も約650人の来場者となり、どのブースもイベント終了時までたくさんの人たちでにぎわいました。

毎年大人気のみかんの木文庫＆福知山淑徳高校による人形劇、読みきかせ、手づくり体験コーナー、雑貨や野菜、飲み物などの販売コーナー、紙飛行機とぼし、竹馬・水鉄砲などの遊びコーナーのほか、ゆう薬局による調剤体験、駐在所のおまわりさん体験・犯人さがしゲーム、大人気のおかしすくいなどもりだくさんのブースを楽しみました。

また今年初参加の郵便局ブースでは郵便配達のパイクに乗って写真撮影ができた、約60名の子どもたちが1年後の自分に宛てて手紙を書きました。



来年もたくさんの方のお越しをお待ちしています。

1年後の自分へ手紙

毎年行列のできるニガオエ

ポリマークレイでストラップ作り

読み聞かせは心がほっこり

大人気だったぶよぶよすくい



手づくりの水鉄砲にみんな夢中



今年もおかしすくいは大行列



キッズDJも大活躍



かわいい雑貨屋さん



販売ブース也大忙し



みんな大好きかき氷



超満員だった人形劇

今年も「みわこどもまつり」が6月13日に三和荘ホール・周辺で開催されました。



素敵なお話をしてくださいました



(通信料がかかります)

今回のラジオは 仲野恵子さん

F M丹波で月々金曜午後4時から放送中の番組「七色バラエティワイド」内で隔月1回、三和地域協議会が三和地域の情報を発信している『みわを元気に』のコーナー、第12回が6月25日に放送されました。

今回は、協議会の副会長であり、みかんの木文庫の代表をされている、仲野恵子さんをゲストにお迎えしました。

これまでもさまざまな活動の経緯や今後

の活動などをお話いただきました。包み込まれるような安心感を覚えました。ぜひお聴きください！

←のQRコードを携帯電話・スマートフォンやタブレットで読み取り、出てきたリンク先をクリックすると、内容をお聞きいただけます。

（通信料がかかります）

編集後記

地域で細々と読み聞かせを初めて8年。仕事があるのに2・3回ほどの参加のだけれど、先日防災訓練で仲野さんのおばあちゃん達と話をしたら「私も行って聞かせてもらってもいいやろか」と嬉しい事を言ってくれた。昔は孫にも読んでやろうという話から「あーそれなら読み聞かせをして」とお願いしてみると、はじめは「そんな上手に読まれへんし、入れ歯がとれたらえらい」ちゃーんと笑い話にしていたけれど、おばあちゃん達、何気に嬉しそうで乗り気になってくれました。

さて、このおばあちゃんたちは子どもたちにどんなプレゼントを仕掛けてくれるのか。日常生活の中で、中々接点のない人同志が交流する事で何かとても素敵な化学反応が起こりそうなきがして、今からわくわくしている私です。

Hi-Koh・Music・Fes. 開催されました！

去る6月30日、Hi-Koh・Music・Fes.（ハイコウミュージックフェス）が開催されました。昨年に引き続き2回目の開催です。2015年に閉校し、使われなくなった旧川合小学校跡を若手アーティストの発表の場として有効活用し、なおかつ希薄になりつつある住人同士の交流を呼び起こそうと思いを込めた、地元有志らの企画で実現しました。

会場は旧川合小学校の体育館で、福知山を中心に活動する若手アーティストの『チキンズキッちゃん』がステージディレクターを務めました。

盛り上がった5バンドの演奏

たくさんの子どもたちも参加



地元の方たちによる屋台



地元スタッフも大活躍

を務めました。一番手を飾ったのは市内で活躍するバンド『circle（サークル）』。その後、福知山公立大学の『オクニシカケル』、沖縄音楽の『あしびなBAND』、和太鼓の『しょうめい』と続き、プログラム最後はチキンズキッちゃん締めくくり、手拍子や、歓声で大いに盛り上がりしました。

会場には、飲み物の他にも地元有志によるヤキソバや農家民宿ひでじろうの猪肉ガレット、加工所さきゆりグループのホットケーキ、お母ら工房のパン＆クッキー等が並び、家族連れや若者ら140人（主催者発表）が和気あいあいと音楽祭の雰囲気を楽しみました。

過疎高齢化が進む山里に若者の唄声と子供達の笑い声が響き渡った一日でした。